MuRA
cinema association

邑(むら)の映画会実行委員会は、群馬県の「映像教育」の発展を目指し、世界で制作された多様な映画作品の上映活動を行っています。上映会を通して、地域の子ども、大人たちが夢をふくらませ、映像によって心豊かな感性が育めることを願っています。

モチモチの木

1972年 / 日本 / 上映時間 18分
監督 / 岡本忠成
キネマ旬報ベストテン文化映画部門第1位

背景やキャラクターに和紙、水彩、染めといった、日本の伝統工芸の手法を用い、ナレーションや音楽は浄瑠璃の形をとっています。太夫の語りと三味線のリズムが、峠で暮らすじっさまと孫の豆太の動きを、じつに明るく楽しいものにし、思わずほほえまずにはいられない、切り絵アニメーションです。

飲みすぎた一杯

1953年/チェコ/上映時間18分40秒
監督 / ブジェチスラフ・ポヤル
カンヌ映画祭受賞

映画はショット、カットを切り替えることによって、いろいろな表現を可能にしてきました。動いているものをどう見るか、あるいは動いているという感覚を、どうとらえたらいいのか。このアニメーションは、そうした映画の原理をじつに見事に、喜びにみちたものとして、私たちに見せてくれます。

話の話

1979年 / ロシア/ 上映時間29分
監督 / ユーリ・ノルシュテイン

どうしてこんなタイトルがついているのでしょうか。分かりません。なつかしくて、悲しくて、さびしくて、暖かくて、そう、いろいろな感情が近づいたり、遠ざかったりしているのです。私たちの思い出というものが、そうであるように。アニメーションだけが作り出せる、独特な世界。のちの世まで伝わるようなアニメーション表現の代表作です。

©2004 Films By Jove Inc. in association with Soyuzmu I tfilms studio

ピロスマニ

1969年 / グルジア / 上映時間 86分
監督 / ゲオルギー・シェンゲラーヤ
シカゴ国際映画祭ゴールデン・ヒューゴ賞受賞

グルジアはコーカサス山脈南側にある小さな国です。ニコ・ピロスマニはなにものにも縛られない自由な生き方を通した放浪の画家。素朴派ともいわれるような絵をレストランの看板に描いたりしていました。この作品はニコの絵のように、今まで見慣れてきたものと、なにかが少し違っています。こんなにもこころやさしくなれる映画はなかなかありません。

講演「映画のうそと本当」

邑の映画会顧問 映画監督 小栗康平

うそは泥棒の始まり、だから嘘をついてはいけない、と親から教えられました。
映画や小説、漫画も、うそといえばみんなうそ。「つくられたもの」ですね。でもこうした「作品」のことを、私たちはうそ、とはいわないで、虚構、フィクションといって、それを楽しみ、あるいはそこからたくさんのことを考えたりする、きっかけにもしています。どこがうそで、どこが本当なのか、映画のうそと本当とはなにか、と探っていくと、なかなかおもしろいですよ。

プロフィール

1945年前橋市生まれ。早稲田大学第二文学部演劇専修卒。81年の監督第一回作品「泥の河」はモスクワ映画祭銀賞、米アカデミー賞外国語映画賞ノミネートなど高い評価を受け、以後、84年「伽椰子のために」(仏ジョルジュ・サドゥール賞)、90年「死の棘」(カンヌ映画祭グランプリ・カンヌ1990/国際批評家連盟賞)、96年の県人口200万人記念映画「眠る男」(モントリオール映画祭審査委員特別大賞)、05年「埋もれ木」(カンヌ映画祭特別上映作品)公開。
著書「映画を見る眼」「時間をほどく」他

主催 □ 邑の映画会実行委員会
協力 □芸術文化NPO法人スピリットネットワークぐんま

後援 □邑楽町/邑楽町教育委員会/邑楽町立小中学校PTA連合会/邑楽町立幼稚園PTA連合会/邑楽町立保育園保護者会連絡協議会/風の子保育園保護者会/邑楽町文化協会/邑楽町公民館・おうらヤングプラザ・長柄公民館・各利用団体連絡協議会/群馬県/群馬県教育委員会/館林市教育委員会/板倉町教育委員会/明和町教育委員会/千代田町教育委員会/大泉町教育委員会/上毛新聞社/朝日新聞前橋総局/毎日新聞前橋支局/読売新聞東京本社前橋支局/産経新聞社前橋支局/東京新聞前橋支局/NHK前橋放送局/群馬テレビ/エフエム群馬

会場交通案内
東武小泉線本中野駅より徒歩5分。北関東自動車道太田・桐生I.Cより20分。